



親子連れに楽しく体のことを話す木村なぎさん
(右端) 一富山市の新保文化会館で5日

親子で楽しく性教育

富山助産師講師で公開講座

幼児期から自分の体を大切にする習慣をつけてもらおうと、公開講座「子どもと親の楽しい性のお話」が5日、富山市新保の新保文化会館で開かれた。女性の心と体の健康を考えるNPO「ハッピーウーマンプロジェクト(HWP)」(小林涼子代表)の主催。

体について興味を持ち始めた子どもに、親が適切に対応できるよう、家族で楽しく性教育が学べるオリジナルプログラム。この日はHWPに所属し、近くの市立新保小で性教育を担当している助産師の木村なぎさんが講師を務めた。まず音楽に合わせて体操した後、お風呂での体の洗い方や、赤ちゃんがお母さんの体の中で大きくなり産まれてくるまでを人形などを使って分かりやすく説明した。

5歳の長女と参加した富山市の女性(35)は「子どもがパパとママの体の違いに興味を持ち始め、どう対応していいのか考えていたところなので、ちょうどいいタイミングと思いつけました。とても参考になりました」と話していた。

◇ HWPは「小さいころから『男女の体の違いがあって当たり前』という意識が身に付くように」と、希望があればどこでも講座を開催している。問い合わせはHWP(090・2838・1341)へ。

【富山郁子】